

施設名称		〔49～55〕 台東リバーサイドスポーツセンター				
指定管理者の名称		公益財団法人台東区芸術文化財団		指定期間	H22.4.1 ~ H25.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営					
(2)類似施設の管理実績	朝倉彫塑館、下町風俗資料館、一葉記念館、旧東京音楽学校奏楽堂、書道博物館					
(3)経営状況	H23年度 収入計 630,331,778円、支出計 553,343,174円 収支差額 76,988,604円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区今戸一丁目1番10号					
(2)設置目的	区民の生涯スポーツ及びレクリエーションの振興並びに児童、生徒の体位及び体力の向上を図り、もって心身の健全な発達に寄与する。					
(3)利用者	区内在住・在勤・在学の方					
(4)開館日・時間	月曜日（第一月曜日は開館）・年末年始を除く毎日9：00～22：00 （陸上競技場・少年野球場は9：00～17：00）					
(5)規模	延床面積（体育館：11,939.34㎡、陸上競技場：3,073㎡） 敷地面積（陸上競技場：10,560㎡、野球場：14,476.96㎡、庭球場：3,528㎡、水泳場：3,540㎡、少年野球場：5,087.5㎡）					
(6)人員体制	14名 所長（1）、副所長（1）事務職員（12）					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	管理運営、総合体育館個人開放、初心者スポーツ教室					
(2)自主事業	硬式テニス教室、桜橋わんぱくトライアスロン、区民ドッジボール大会					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	197,414,000	157,186,000	202,835,000	237,567,000	211,223,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	197,414,000	157,186,000	202,835,000	237,567,000	211,223,000
決算	委託料	168,632,999	155,389,474	158,399,962	191,438,853	172,758,753
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	168,632,999	155,389,474	158,399,962	191,438,853	172,758,753
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
開館日数		日	323	324	323	324
初心者スポーツ教室講座数		講座	11	11	11	7
硬式テニス教室実施回数		回	240	240	468	240
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （25年度）	21年度	22年度	23年度
利用者数		人	400,000	327,654	386,775	370,144

7．平成23年度評価結果に対する現在までの取組み					
<p>投書箱の設置や利用者アンケートを実施し、利用者ニーズの把握に取り組んでいる。また、地震発生時の対応マニュアルの作成を行うなど、緊急時の対応を強化した。</p>					
8．評価項目		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。		
評価の観点	評価項目				
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [3]	
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]	
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)経費縮減のための取組み	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]	
9．評価		S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。			
評価の観点	評価	説明			
(1)事業の運営	A	陸上競技場の夏季の一般開放時間の延長や、要望の多かった競技種目の個人開放を引き続き実施するなど、台東区の中核スポーツ施設としての役割をふまえ、適切な運営とサービスの提供に努めている。			
(2)施設の維持管理	A	軽微な修繕については協定に即し、管理運営経費での対応を行っており、適正な維持管理を行っている。また、節電対策においても照明の間引きや室温の集中管理、空調機器の間欠運転など指定管理者自身が工夫して利用者の理解と協力を得ながら節電に取り組んだ。			
(3)利用者の満足度	A	投書箱の設置や初心者教室の利用者に対してアンケートを実施するなど、満足度の向上に努めている。また、地域の各種スポーツ団体等との連携・協働が図られ、一定の利用者数を確保している。			
(4)歳入歳出	A	23年度は、震災対応や節電への取組みとして施設営業時間の一部短縮等を実施したが、適切な運用により、歳入・歳出ともに適正な水準となっている。			
10．総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適			
		<b>妥当</b>	施設管理に関しては適正に行われるとともに、陸上競技場の夏季の一般開放時間を引き続き延長するなど、区民サービスの向上にも努めている。また、節電対策についても、指定管理者が自ら工夫し利用者の理解を得ながら取り組み省エネに努めた。		
11．平成24年度評価結果に対する今後の対応					
<p>今後の更なるスポーツ振興のために台東リバーサイドスポーツセンターは、区のスポーツ振興の拠点施設として、関係スポーツ団体や地域との連携・協働のもと充実を図っていく。また、利用者ニーズの把握に努め、更なる利用者の拡大を図るとともに、サービス向上の取り組みを実施していく。</p>					